

# 平成19年度 主要事業

## ～安全・安心なまちづくりを目指して～

### ◎「安全・安心」事業

- ・特定不妊治療助成事業（新規）……………〔475万円〕  
不妊症診断検査や不妊治療について、現行の県制度に町事業分として上乘せして助成します。
- ・乳幼児、児童、生徒医療費助成事業（継続）……………〔9,669万1千円〕  
入院は15歳（義務教育終了）まで、通院は10歳（小学校4年生）まで医療助成します。
- ・放課後児童クラブ運営事業（継続）……………〔3,028万2千円〕  
小学校1年生から3年生の児童を対象に授業終了から19時まで各小学校で預かります。
- ・乳幼児、児童健康支援一時預かり事業（継続）……………〔1万2千円〕  
病気の回復期にある児童等で、集団保育が困難な場合に松枝保育所で預かります。（病後児保育所）
- ・児童生活習慣病予防事業（継続）……………〔46万1千円〕  
小学校5年生を対象に生活習慣病血液検査を実施します。また、事後指導の充実も図ります。
- ・AED導入事業（新規）……………〔128万8千円〕  
急な心肺停止時の応急手当で有効なAEDを、3年計画で公共施設に設置し、いざというとき誰もが使用できるように普及啓発します。
- ・高齢者インフルエンザ予防接種助成事業（継続）……………〔360万円〕  
高齢者のインフルエンザ予防接種費用の一部を助成します。
- ・介護予防事業（継続）……………〔374万6千円〕  
要介護者にならないように、老人クラブ体力測定、転倒予防教室、筋力アップ教室など予防対策の充実を図ります。
- ・洪水ハザードマップ作成事業（新規）……………〔403万2千円〕  
大雨により河川が氾濫した場合に、迅速に避難できるよう作成・公表します。
- ・地震ハザードマップ作成事業（新規）……………〔535万5千円〕  
地震による災害の範囲などの予想図、一定時間内におこる可能性がある自然災害の発生確率を示したものを作成・公表します。
- ・木造住宅耐震診断、改修助成事業（継続）……………〔440万円〕  
耐震診断に対する助成と、耐震診断の結果により耐震補強工事が必要となった場合の工事（改修）に対する助成を行います。
- ・道徳教育推進事業（新規）……………〔422万2千円〕  
専任の囑託員を配置し、道徳のまちづくりを進めます。
- ・（財）国際調和クラブ修学助成事業（新規）……………〔90万円〕  
国際調和クラブからの指定寄附事業として、財政理由による高校修学困難者に対し、毎年度新たに3名に奨学金を交付します。
- ・小中学校教育学習支援事業（継続）……………〔1,485万円〕  
多動性児童、生徒に対応するため非常勤講師を増員配置します。